プラットフォーム統合ソリューション“VMINTEGRA”

伊藤正裕*
山田健策*

Platform Integrate Solution "VMINTEGRA"

Masahiro Ito, Kensaku Yamada

要　旨

企業の情報システムを構成するサーバの台数は年々増加する傾向にあるが，サーバ・リソースを有効利用できていないことや，複数サーバの運用コスト削減，省スペース化やグリーンIT対応として省エネルギー対策が課題になってきている。これらを解決する手段の一つとして，ハードウェア仮想化によるサーバ統合が注目されている。しかし，現時点では，サーバ統合におけるリソース設計，パフォーマンス評価，仮想マシン環境構築ノウハウを持つ技術者は不足している。そのために構築・運用コストは高く，中堅・中小企業では導入コスト低減と，統合後の運用が課題となっている。

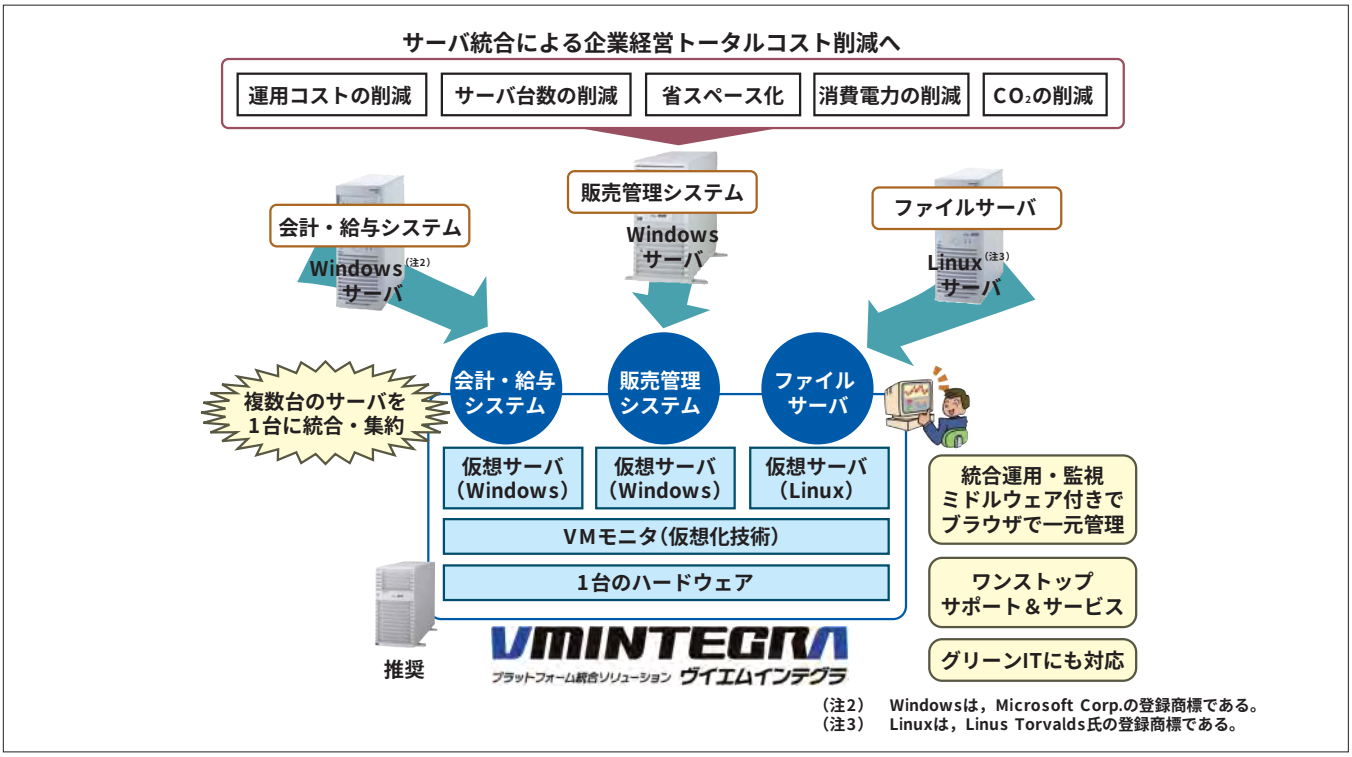
三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱(MDIT)は，これらの課題を解決するため，プラットフォーム統合ソリューション“VMINTEGRA(ヴイエムインテグラ)(注1)”を開発した。

VMINTEGRAでは，中堅・中小企業で採用実績の多い業務パッケージ製品を，各パッケージメーカーとともに仮想環境上で評価及びパターン化し，“VM導入テンプレート”を用意した。これを使用することによって，専門知識がなくても容易に短期間かつ低コストでサーバを統合でき，安定的に稼働させることを可能とした。

また，統合した複数システムを運用管理する機能もパッケージ化して運用管理を一元化し，管理の手間を大幅に削減した。サーバ統合化によって複数システムを統合し，ハードからシステムまですべてのサポート窓口を一本化して顧客の便を図っている。さらに遠隔地から迅速な技術支援を行う“リモートサポートサービス”を用意し，災害対策として遠隔バックアップサービスなど，万一の備えも充実させた。

VMINTEGRAは，サーバ統合のシステム構築のコスト削減，グリーンIT対応(CO_2排出量削減，消費電力削減)だけでなく，情報システム運用要員の少ない中堅・中小企業でも簡単かつ安心してシステム運用できる機能・サービスの提供を実現した。

(注1)　ヴイエムインテグラ／VMINTEGRAは，三菱電機㈱が商標出願中である。



(注2)　Windowsは，Microsoft Corp.の登録商標である。
(注3)　Linuxは，Linus Torvalds氏の登録商標である。

VMINTEGRA

プラットフォーム統合ソリューション“VMINTEGRA”は，設計済みの仮想化環境を標準搭載している。複数のシステムをそのまま1台のハードウェアに統合でき，簡単，低コスト・短期間で省エネルギー・省スペースを実現する。

*三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱